

**オリンパス株式会社（証券コード：7733）
東証IRフェスタ2017 会社説明会**

オリンパスの事業と成長戦略

2017年2月

1. 会社概要

2. 事業概要

(1) 医療事業

(2) 科学事業

(3) 映像事業

3. 成長戦略（中期経営計画）

4. 最後に

1. 会社概要

会社概要

- 商号 オリンパス株式会社
- 代表者 代表取締役社長執行役員 笹 宏行
- 設立 1919年
- 連結売上高 8,046億円 (2016年3月期実績)
2017年3月期の見通し： 7,430億円
- 株式上場 東京証券取引所 市場第一部
(証券コード：7733)
- 連結従業員数 33,336人 (2016年3月末時点)
- 連結子会社数 120社 (2016年3月末時点)



本社ビル（新宿モノリス）

経営理念

Social IN



INtegrity
社会に誠実

INnovation
価値の創造

INvolvement
社会との融合

「オリンパスグループは
生活者として社会と融合し、
価値観を共有しながら
事業を通して新しい価値を提案し、
人々の健康と幸せな生活を実現していきます」

*Social INは「社会の価値を会社の中に取り入れる (Social Value in the Company)」という意味の造語です

経営ビジョン

世界の人々の健康・安心と心の豊かさの実現を通して社会に貢献する

オリンパスを構成する事業セグメント

医療事業



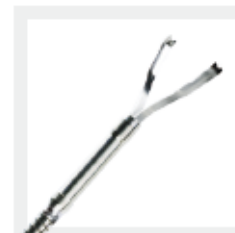
消化器科・呼吸器科



上部消化管汎用
ビデオスコープ
(消化器内視鏡)



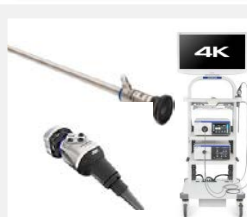
気管支ビデオスコープ
(呼吸器内視鏡)



ディスプレイ
回転クリップ装置
「QuickClip Pro」

2017年3月期売上高見通し

外科



4K外科手術用
内視鏡システム



ハイパワー高周波・超音波
結合エネルギーデバイス
「THUNDERBEAT」

泌尿器科・婦人科

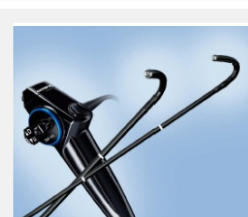


軟性尿管内視鏡



前立腺肥大症・膀胱腫瘍
治療用レゼクトスコープ・電極

耳鼻咽喉科



軟性咽頭内視鏡



マルチデブリッター
「DIEGO ELITE」

科学事業



生物顕微鏡



多光子励起
レーザー走査型顕微鏡
「FLUOVIEW FVMP-E-RS」

産業用機器



工業用内視鏡
「IPLEX」シリーズ

映像事業



ミラーレス一眼

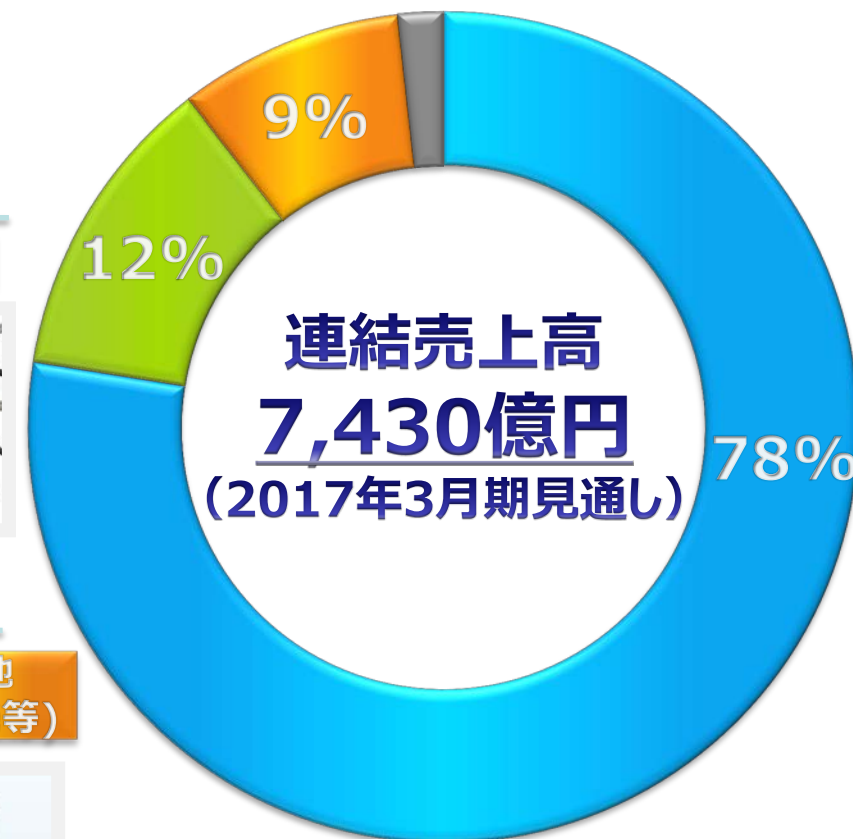


ミラーレス一眼カメラ
「OLYMPUS OM-D
E-M5 Mark II」

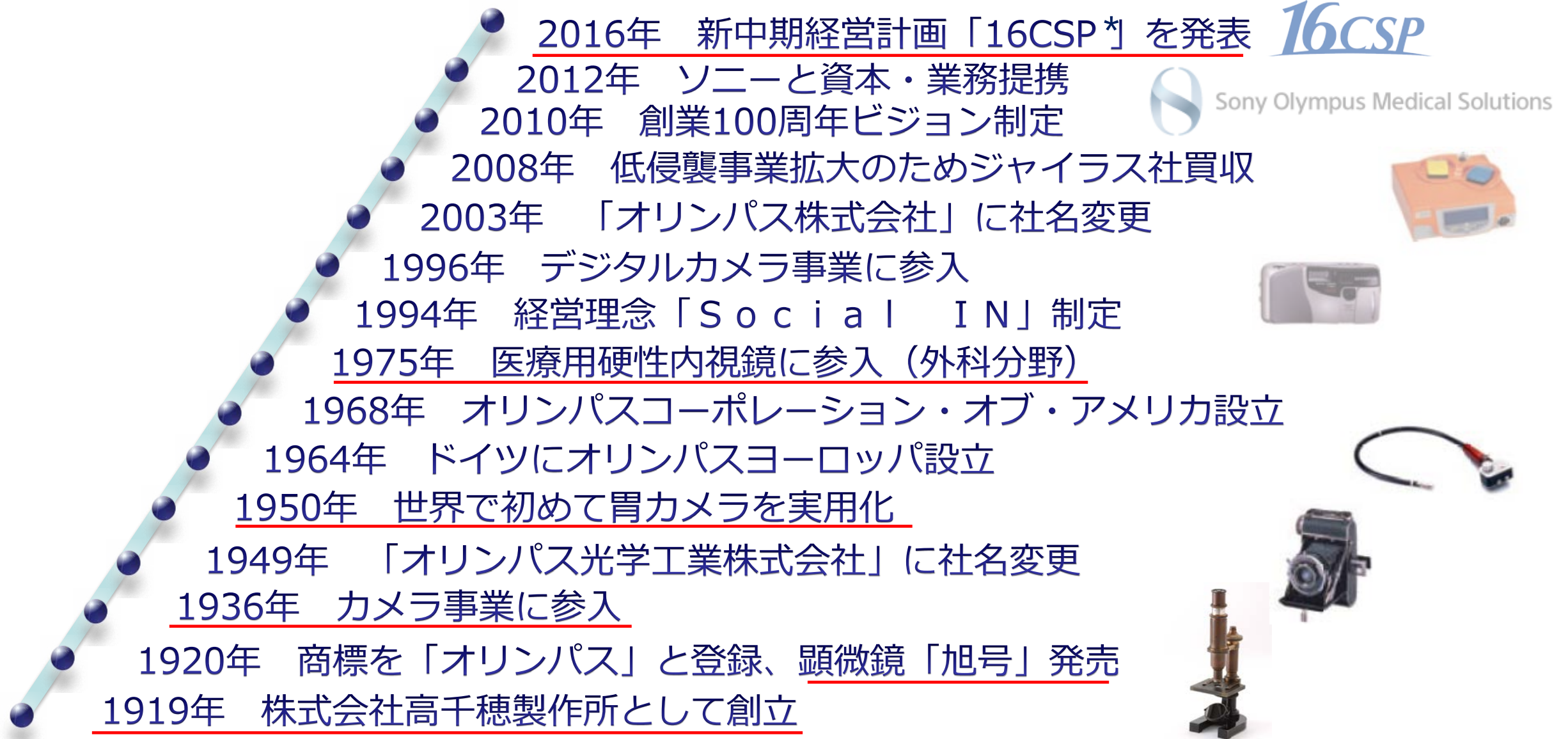
その他 (録音機等)



リニアPCMレコーダー
「LS-14」



オリンパスの歴史



2. 事業概況

(1) 医療事業

オリンパスを構成する事業セグメント

医療事業



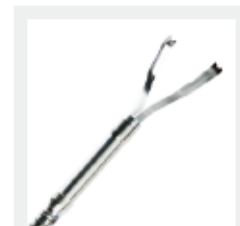
消化器科・呼吸器科



上部消化管汎用
ビデオスコープ
〔消化器内視鏡〕



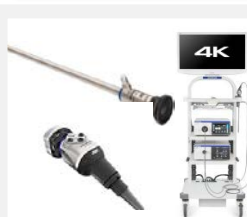
気管支ビデオスコープ
〔呼吸器内視鏡〕



ディスプレイザブル
回転クリップ装置
〔QuickClip Pro〕

2017年3月期売上高見通し

外科



4K外科手術用
内視鏡システム



ハイパワー高周波・超音波
結合エネルギーデバイス
〔THUNDERBEAT〕

泌尿器科・婦人科

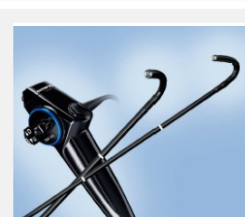


軟性尿管内視鏡



前立腺肥大症・膀胱腫瘍
治療用レセクトスコープ・電極

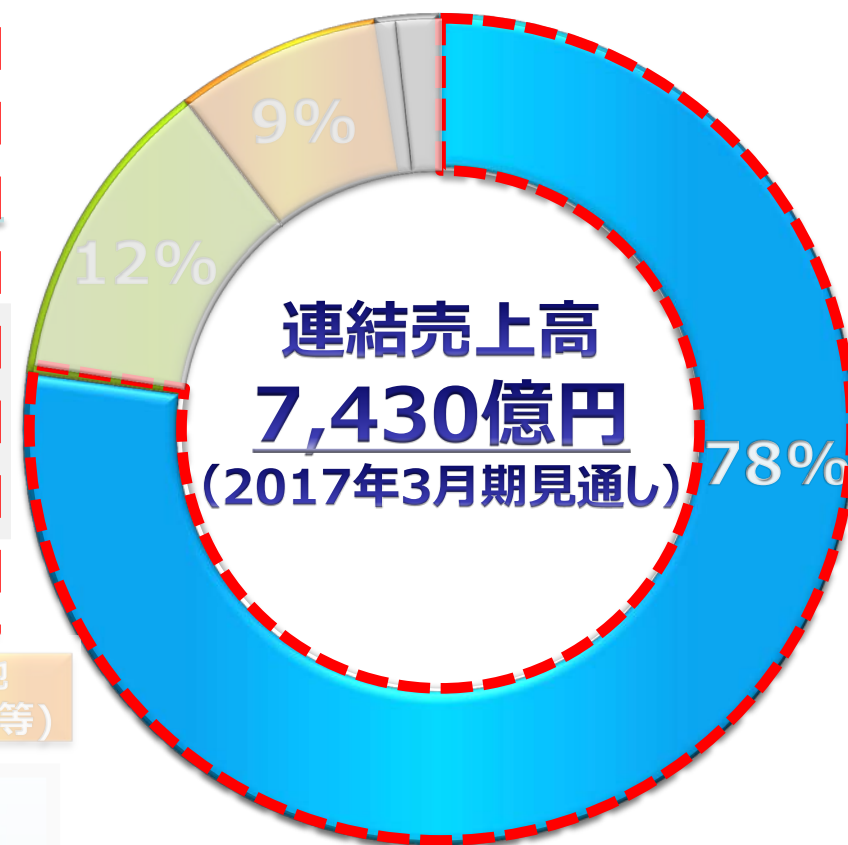
耳鼻咽喉科



軟性咽頭内視鏡



マルチデブリッター
〔DIEGO ELITE〕



連結売上高
7,430億円
(2017年3月期見通し)

科学事業



生物顕微鏡



多光子励起
レーザー走査型顕微鏡
〔FLUOVIEW FVMP-ES〕

産業用機器



工業用内視鏡
〔IPLEX〕シリーズ

映像事業



ミラーレス一眼



ミラーレス一眼カメラ
〔OLYMPUS OM-D
E-M5 MarkII〕

その他 (録音機等)



リニアPCMレコーダー
〔LS-14〕

主要製品と世界シェア

消化器科・呼吸器科



(処置具)

内視鏡：
世界シェア70%以上

処置具：
世界シェア約20%

外科



(エネルギー)
"THUNDERBEAT"

イメージング(外科内視鏡)：
世界シェア20~25%

エネルギーデバイス：
世界シェア18~20%

泌尿器科・婦人科



泌尿器科：
世界シェア約30%

婦人科：
世界シェア約10%

耳鼻咽喉科



咽喉科：世界シェア50~60%
鼻科：世界シェア10~15%
耳科：世界シェア40~50%

オリンパスの医療事業の強み

① 「早期診断」・「低侵襲治療」をベースとした価値の提供

- 消化器内視鏡「早期診断」、外科製品「低侵襲治療」の技術を相互に発展
- 患者さんのQOLの向上と世界的に増加傾向にある医療費の削減に寄与

② See(診断) & Treat(治療)の両方を提供できる製品ポートフォリオ

- 内視鏡による診断（See）と外科製品・処置具等による治療（Treat）の両方を提供できる幅広い製品ラインナップ

③ 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

- 半世紀以上に渡る医師との協働開発体制

④ グローバルに広がる強固な事業基盤

- 約200拠点に広がる業界トップのサービス体制
- 先進国から新興国まで幅広くカバーする販売体制
- 内視鏡医の育成を支援するトレーニングセンター

① 「早期診断」・「低侵襲治療」をベースとした価値の提供

医療事業を取り巻く環境

- 高齢化の進展
- 患者さんのQOL（Quality of Life）の向上
- 医療コスト削減の圧力

早期診断

(Early Diagnosis)

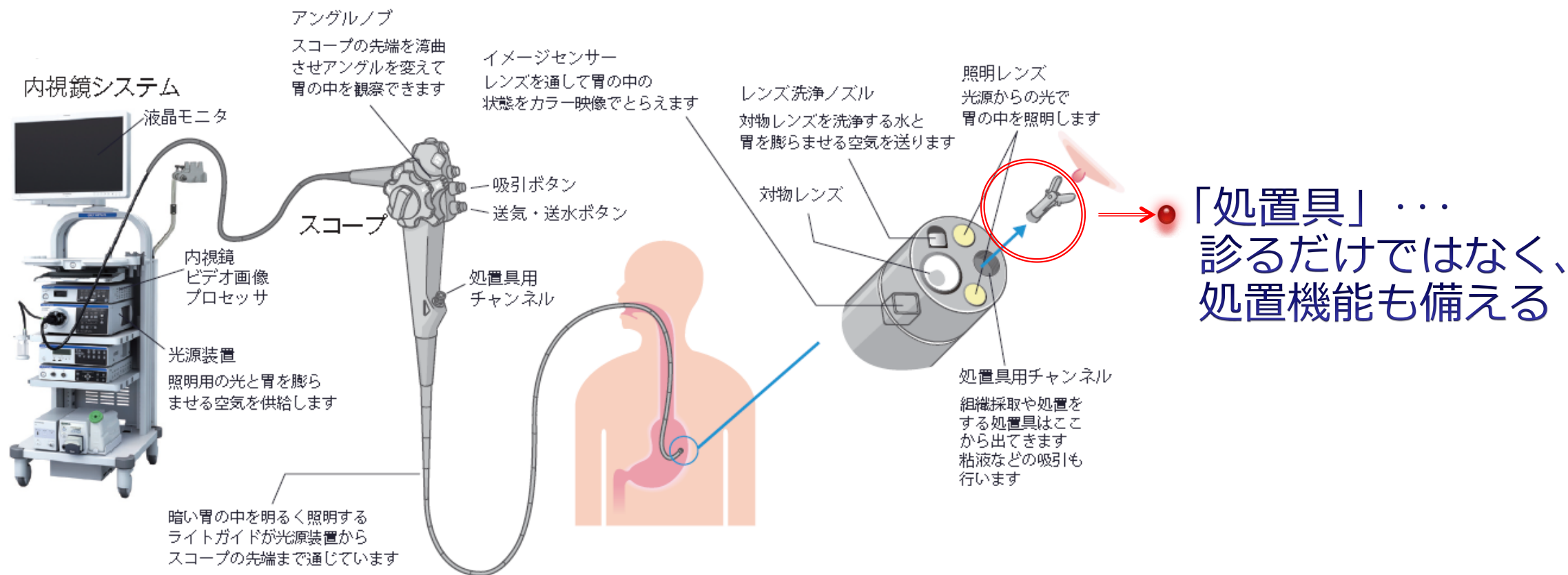
低侵襲治療

(Minimally Invasive Therapy)

① 「早期診断」 ・ 「低侵襲治療」 をベースとした価値の提供

消化器内視鏡領域：「早期診断」

- 「早期診断」・・・病気を早期に発見し、診断を確定させる
- 「内視鏡」・・・食道や胃や腸など、人体内部を観察する事を目的とした医療機器



消化器内視鏡が使われる主な部位



上部消化管内視鏡

食道

胃

十二指腸

小腸

大腸



十二指腸スコープ



大腸内視鏡



カプセル内視鏡

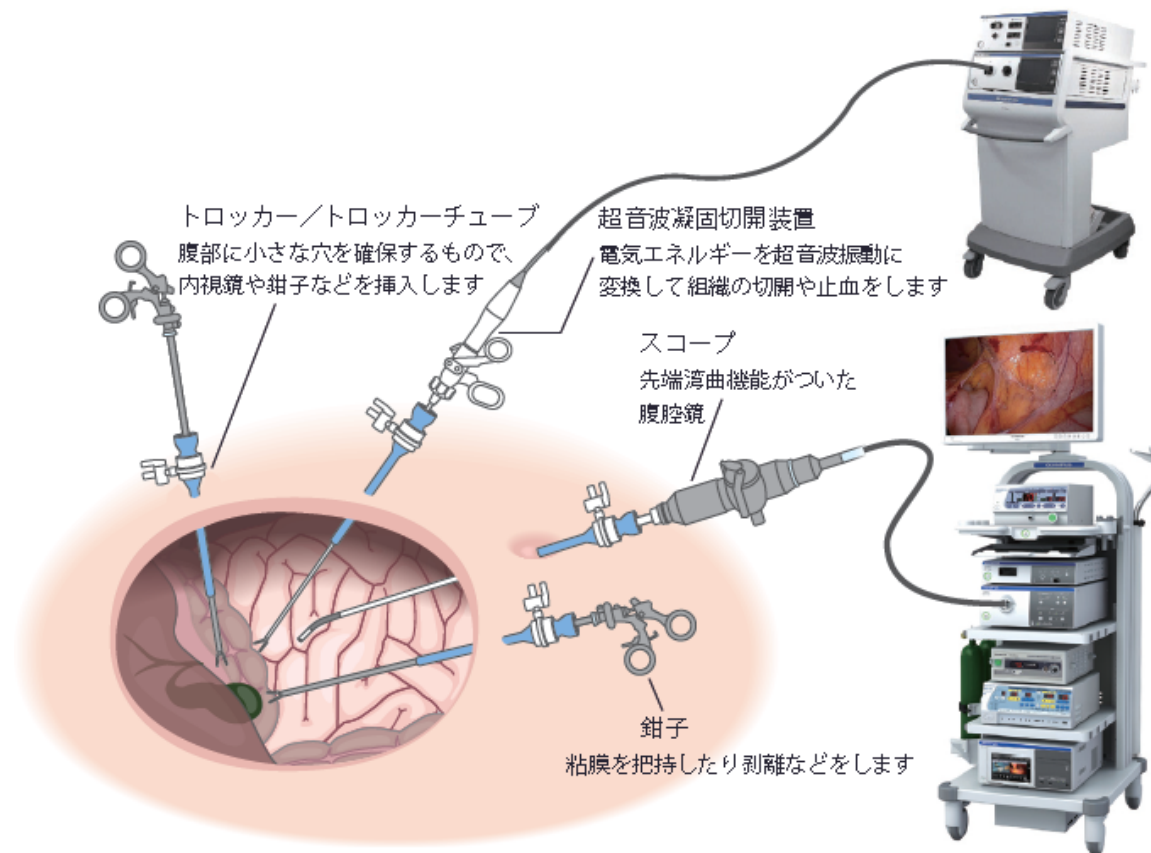
©メディカルイラスト図鑑

※実際のカプセル内視鏡にはロゴが入っておりません

① 「早期診断」・「低侵襲治療」をベースとした価値の提供

外科領域：「低侵襲治療」

- 「低侵襲治療」・・・手術・処置に伴う痛みなどの負担を出来るだけ少なくする
- 「腹腔鏡手術」・・・腹部などに小さな穴を開けて、硬性鏡で体内を見ながら施術する



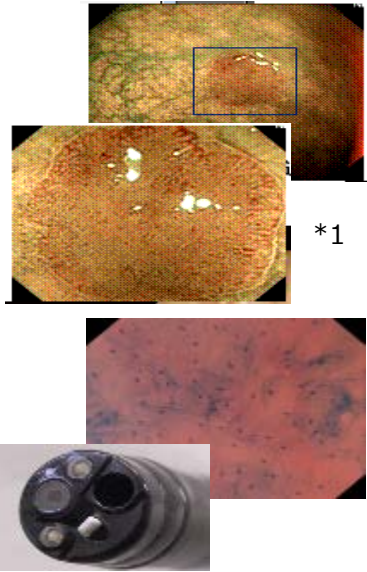
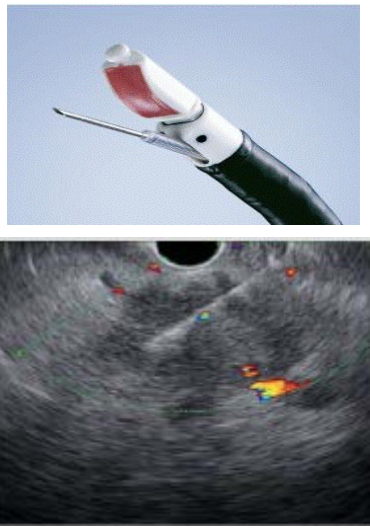
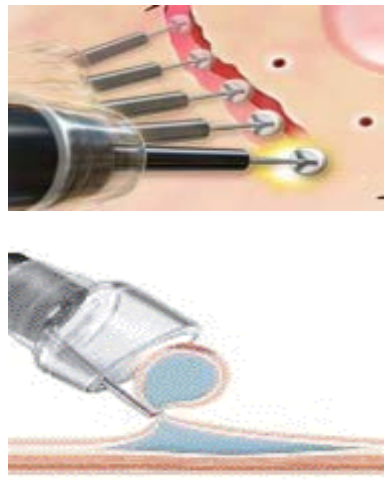
一般の開腹する外科手術と比較して、

- 手術の傷が小さい
- 術後の疼痛が少ない
- 入院期間が短い
- 社会復帰が早い

⇒ 身体的負担のみならず、
経済的な負担の軽減にも繋がると
言われている

② See(診断) & Treat(治療)の両方を提供できる製品ポートフォリオ

診断～内視鏡治療～外科手術 まで全てをカバーするオリンパスの医療機器

拾い上げ	診断	生検・採取	内視鏡治療	内視鏡外科手術	外科手術
					
電子内視鏡システム	拡大内視鏡 超音波内視鏡	生検鉗子／ 細胞診ブラシ	内視鏡処置具	外科手術用 内視鏡システム	手術用エネルギー デバイス

*1: 画像提供：国立がんセンター東病院

③ 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

1950年

胃カメラ開発



1964年

ファイバースコープ
発売



1985年

ビデオ内視鏡システム
発売



2002年

ハイビジョン内視鏡
システム発売



2012年

・EVIS LUCERA
ELITE
・EVIS
EXERA III
発売



医師のニーズにあった製品開発力、最先端の技術力

- 1950 年に世界初の実用的な胃カメラを開発してから現在に至るまで、医師との二人三脚で内視鏡技術の改良に取り組む
- 技術面の進化のみならず、内視鏡検査の普及、内視鏡医の育成支援にも注力

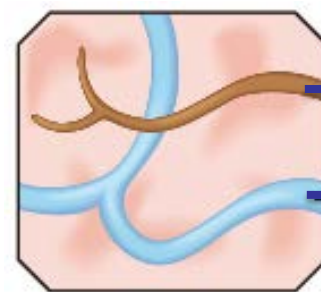
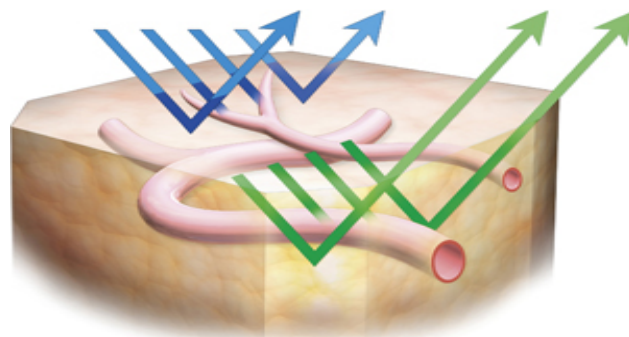
③ 長年に渡る医師との信頼関係を生かした製品開発

最先端のテクノロジー（消化器内視鏡領域）

N B I（Narrow Band Imaging）による毛細血管画像の強調表示



- がんなどの微細病変の早期発見に寄与
- 狭帯域光を用いることでコントラストが強調される
- 粘膜表層の微細構造や毛細血管をより見やすくする

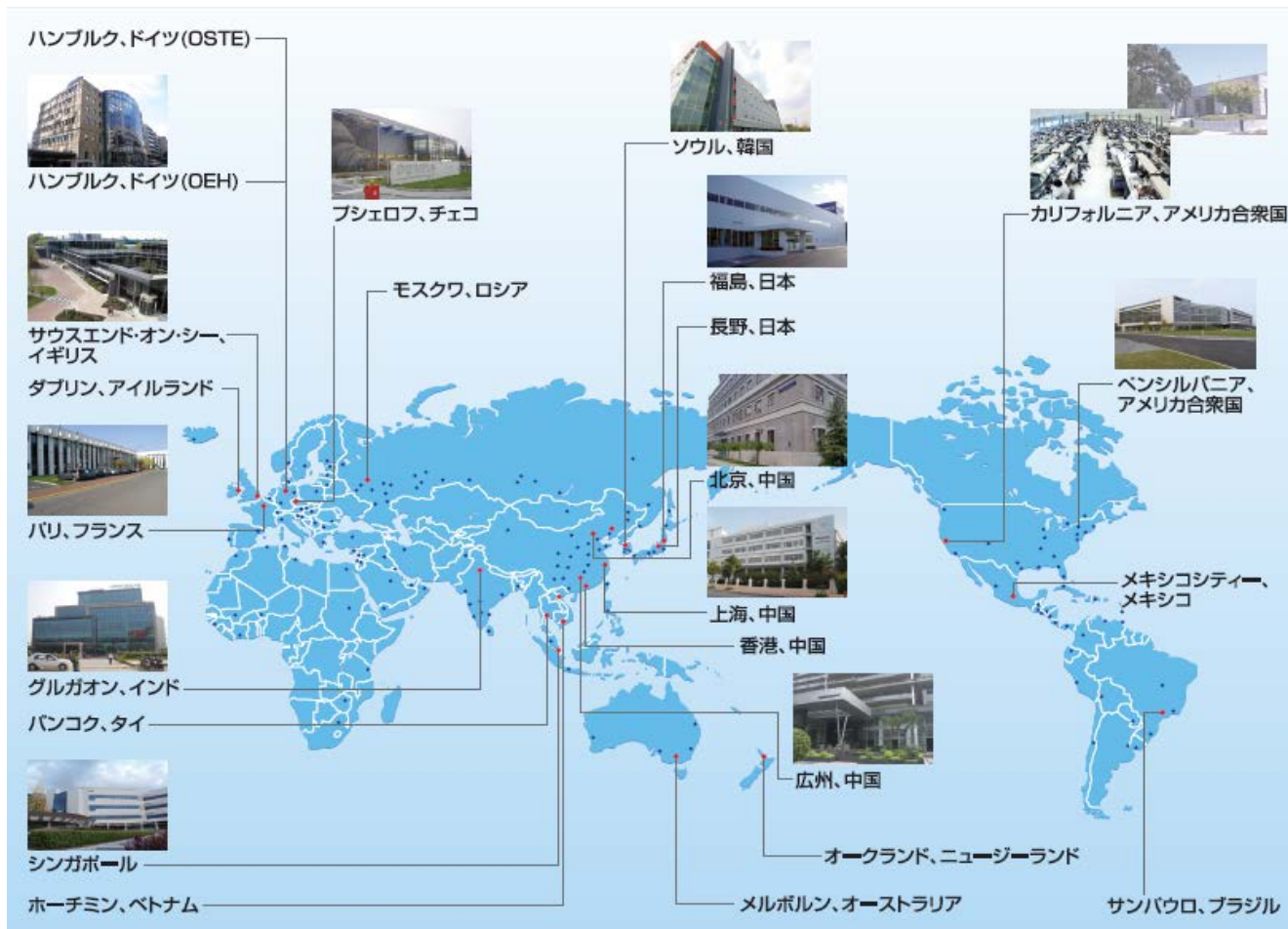


茶色：粘膜表層の毛細血管

青色：粘膜下組織内部の太い血管

写真提供：国立がんセンター東病院（薫風会 佐野病院） 佐野先生

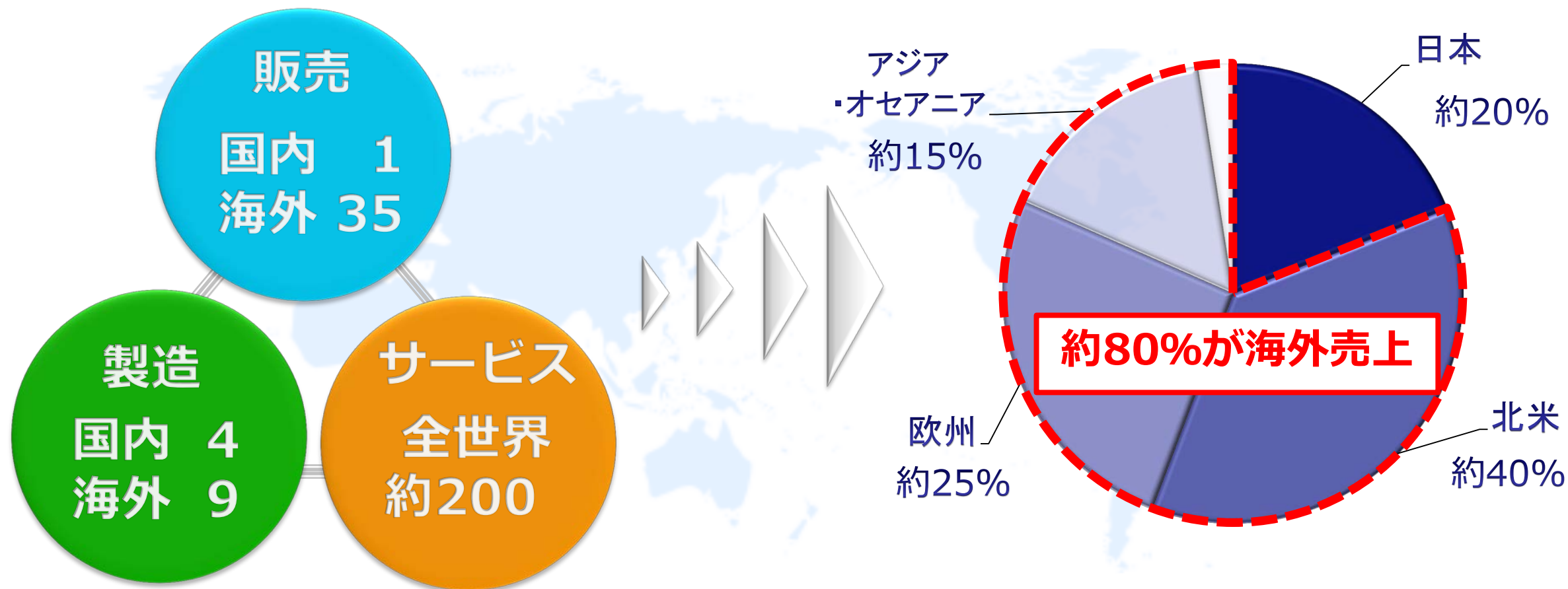
グローバルで約200拠点に広がる業界トップのサービス体制



世界最大の内視鏡修理センター（米国）



先進国から新興国まで幅広くカバーする販売体制



内視鏡医の育成を支援するトレーニングセンター

- 新興国での事業拡大を目指し、中国を中心にトレーニングセンターを順次開設
 - 2008年 上海 トレーニングセンター
 - 2010年 北京 トレーニングセンター
 - 2013年 広州 トレーニングセンター
- 東南アジア初のトレーニングセンターを設立、東南アジアの成長加速を目指す
 - 2016年 タイ トレーニングセンター



2. 事業概況

(2) 科学事業

オリンパスを構成する事業セグメント

医療事業



消化器科・呼吸器科



上部消化管汎用
ビデオスコープ
(消化器内視鏡)



気管支ビデオスコープ
(呼吸器内視鏡)



ディスプレイ
回転クリップ装置
「QuickClip Pro」

2017年3月期売上高見通し

外科



4K外科手術用
内視鏡システム

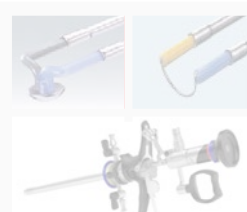


ハイパワー高周波・超音波
結合エネルギーデバイス
「THUNDERBEAT」

泌尿器科・婦人科

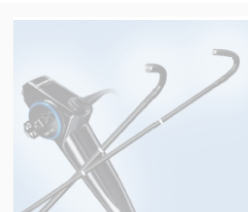


軟性尿管内視鏡



前立腺肥大症・膀胱腫瘍
治療用レセクトスコープ・電極

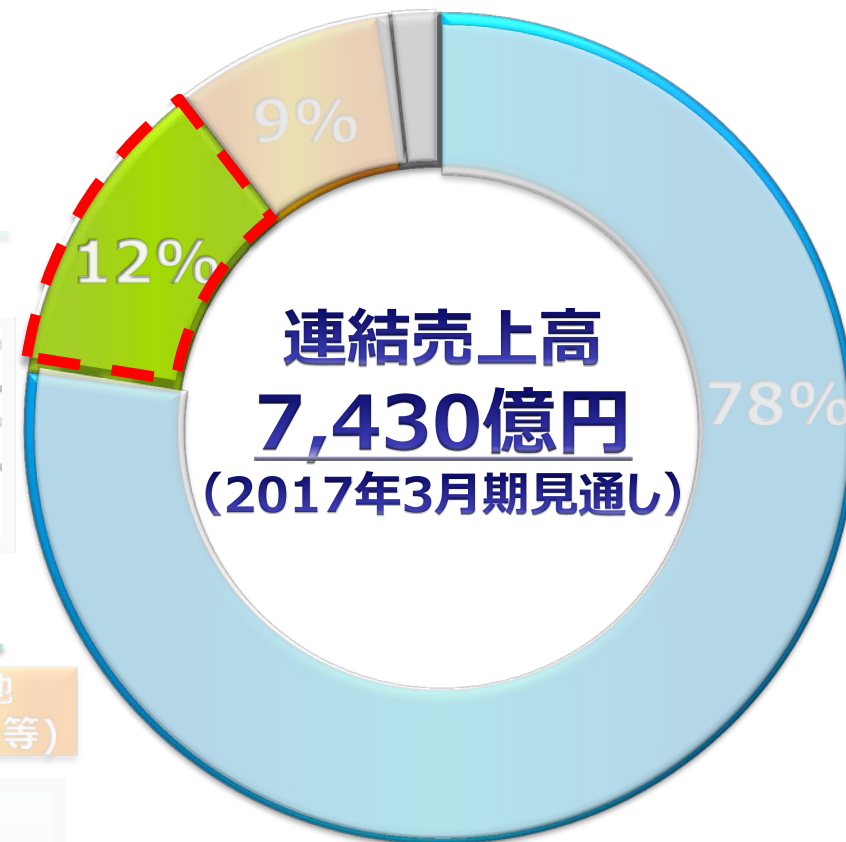
耳鼻咽喉科



軟性咽頭内視鏡



マルチデブリッター
「DIEGO ELITE」



科学事業



生物顕微鏡



多光子励起
レーザー走査型顕微鏡
「FLUOVIEW FVMPE-RS」

産業用機器



工業用内視鏡
「IPLEX」シリーズ

映像事業



ミラーレス一眼



ミラーレス一眼カメラ
「OLYMPUS OM-D
E-M5 Mark II」

その他 (録音機等)



リニアPCMレコーダー
「LS-14」

「世界に認められる顕微鏡をつくる」
「顕微鏡の国産化により、
医学の発展に貢献したい」

1920年
「旭号」
オリンパス初の顕微鏡



生物顕微鏡

レーザー顕微鏡



蛍光顕微鏡



産業用機器

工業用内視鏡



工業用顕微鏡



生物顕微鏡

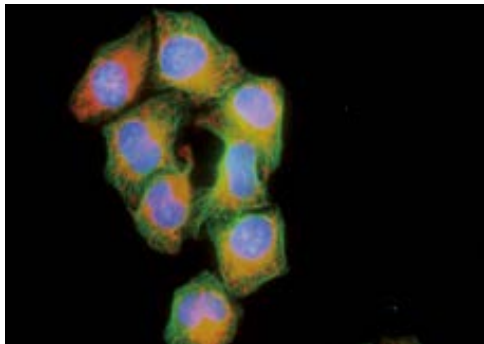
- 次世代医療を切り開く最先端研究を支援

脳神経、がん研究・病理診断、再生医療（iPS細胞など）

- 先進の研究領域から、臨床、教育まで幅広く貢献

- 安定した売上と利益の確保

顕微鏡、世界トップシェアの技術・販売力による安定した収益

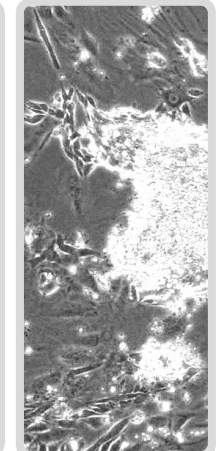
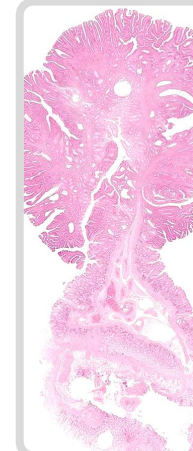
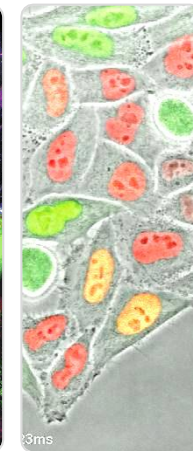
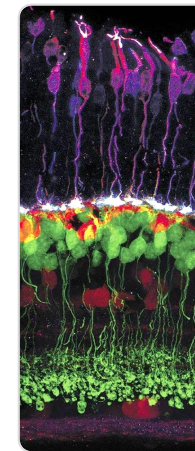


ライブセルイメージング



生物顕微鏡

脳神経科学 がん診断 がん病理診断 再生医療



(iPS細胞等)

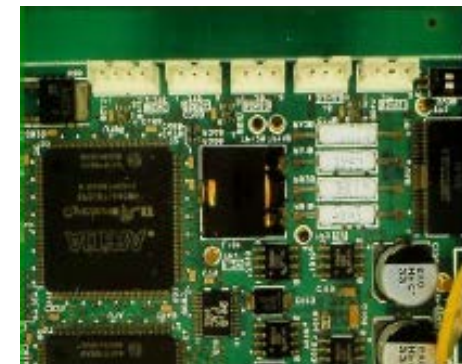
産業用機器

- 安全安心に暮らせる社会づくりに貢献

原発内部観察、発電機のタービン、航空機エンジンの非破壊検査

- 産業製品の生産性向上に貢献

半導体、電子部品、自動車部品の検査



半導体検査



飛行機エンジン検査



工業用内視鏡



プラント検査



工業用顕微鏡

2. 事業概況

(3) 映像事業

オリンパスを構成する事業セグメント

医療事業



消化器科・呼吸器科



上部消化管汎用
ビデオスコープ
(消化器内視鏡)



気管支ビデオスコープ
(呼吸器内視鏡)



ディスプレイ
回転クリップ装置
「QuickClip Pro」

外科



4K外科手術用
内視鏡システム

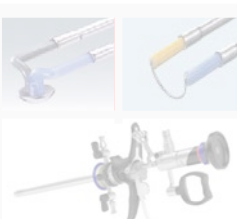


ハイポラール高周波・超音波
結合エネルギーデバイス
「THUNDERBEAT」

泌尿器科・婦人科

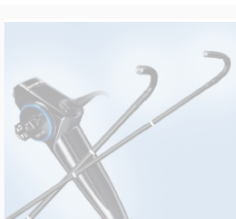


軟性尿管内視鏡



前立腺肥大症・膀胱腫瘍
治療用レゼクトスコープ・電極

耳鼻咽喉科



軟性咽喉内視鏡



マルチデブリッター
「DIEGO ELITE」

科学事業



生物顕微鏡



多光子励起
レーザー走査型顕微鏡
「FLUOVIEW FVMPE-RS」

産業用機器



工業用内視鏡
「IPLEX」シリーズ

映像事業



ミラーレス一眼



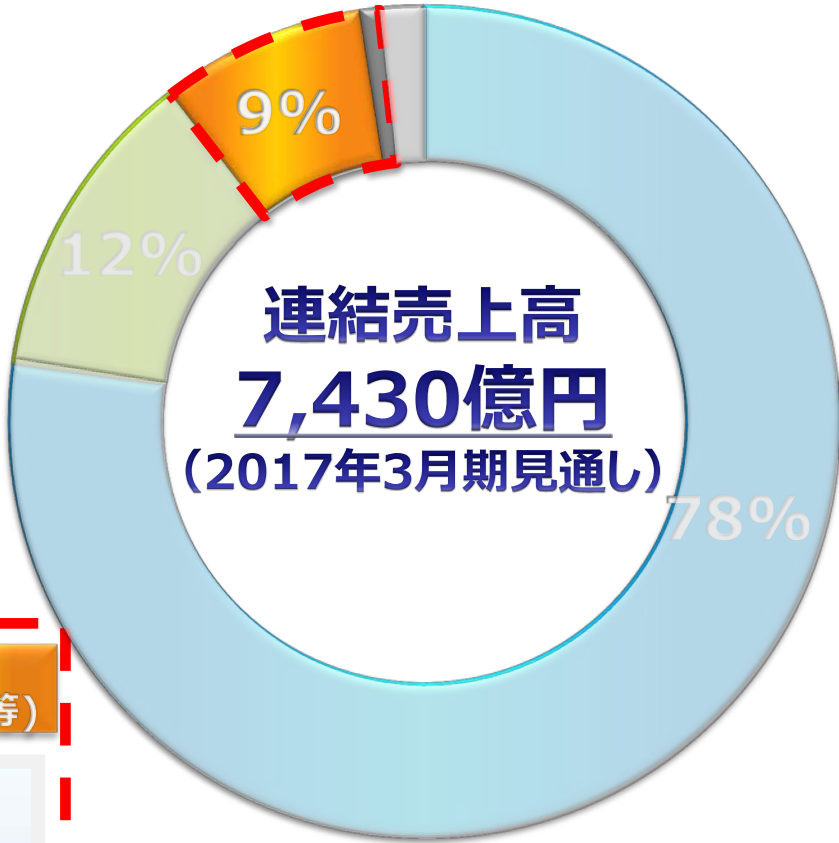
ミラーレス一眼カメラ
「OLYMPUS OM-D
E-M5 Mark II」

その他 (録音機等)



リニアPCMレコーダー
「LS-14」

2017年3月期売上高見通し



収益性の高いミラーレス一眼に集中

- 2009年** ミラーレスカメラ発売により新規市場を開拓
- 2010年** 女性層、アマチュア層向けにラインナップを強化
- 2012年** ミラーレスカメラ高級シリーズ OM-D E-M5 発売
- 2013年** ミラーレスカメラ最上位機種 OM-D E-M1 発売
- 2013年** ミラーレスカメラ戦略モデル OM-D E-M10 発売
- 2015年** ミラーレスカメラ高級シリーズの後継機
OM-D E-M5 Mark II 発売
- 2016年** ミラーレスカメラ最上位機種の後継機
OM-D E-M1 Mark II 発売



PEN E-P1



PEN E-PL1



OM-D E-M5



OM-D E-M1



OM-D E-M10



OM-D E-M5 Mark II



OM-D E-M1 Mark II

2016年12月 「OLYMPUS OM-D E-M1 Mark II」 発売

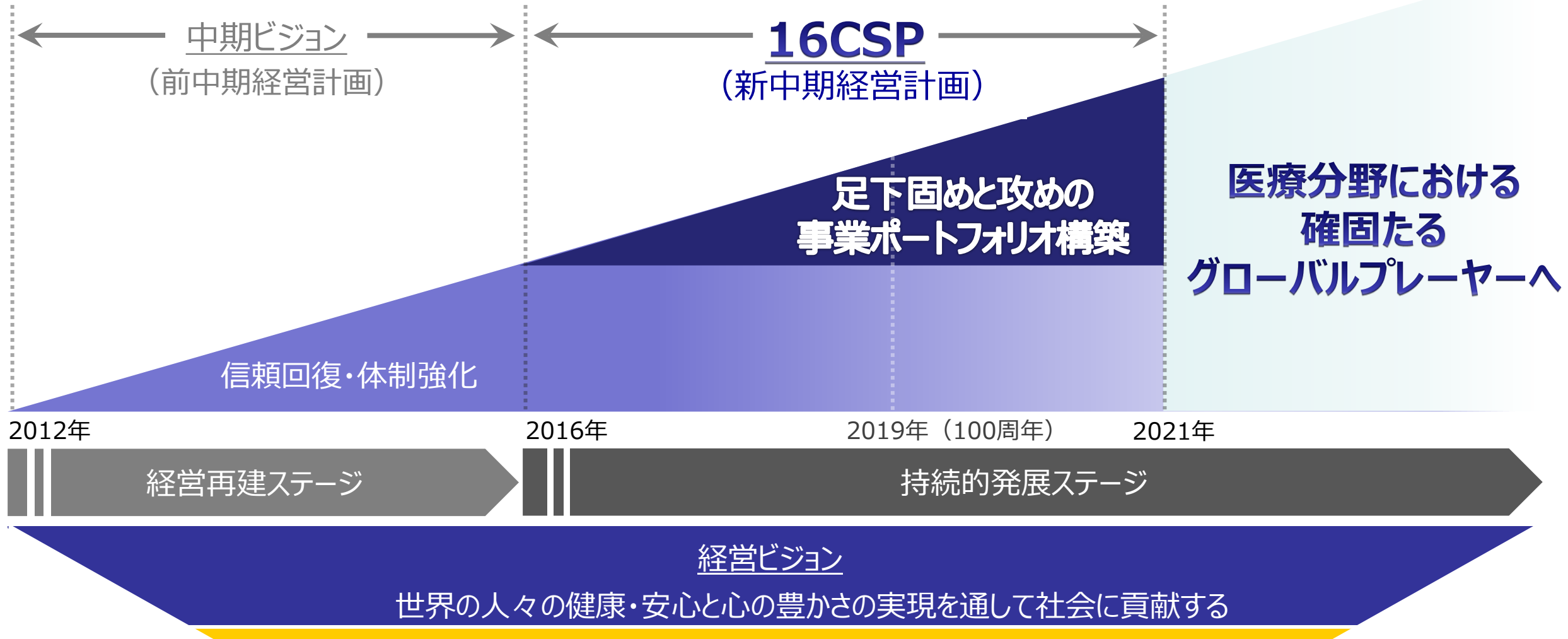


- 「E-M1」から3年を経てさらに進化したミラーレス一眼の最新フラッグシップ機
- 各種最新機能の搭載により、さらなる高画質化と高速化を実現
 - 高速画像処理エンジン「TruePic VIII」
 - 121点オールクロスタイプの像面位相差AFセンサー搭載の有効画素数2037万画素Live MOSセンサー
 - 進化した5軸手ぶれ補正

3. 成長戦略 (中期経営計画)

2016 経営基本計画「16CSP」の位置付け

創立100周年（2019年）の節目を越えて、持続的な発展を実現するための、足下固めと攻めの事業ポートフォリオの構築



経営目標

- 適切な健全性を確保した上で、事業収益性・事業成長性をバランス良く向上させることにより、ROE 15%（資本効率性）をコンスタントに実現し、5年間で収益（EPS）倍増

資本効率性

ROE

15%

（2016年3月期実績：17%）

- 適切な健全性を確保した上で、事業収益性・事業成長性をバランス良く向上させ、ROE 15%を長期的に維持

事業収益性

営業利益率

15%

（2016年3月期実績：13%）

- 外科系3事業（GS、UG、ENT）の収益改善、科学事業の選択と集中、映像事業の確実な黒字確保により収益性を向上
- 製造原価低減に加え、開発効率の改善、間接業務の効率化等により販管費を削減し、収益性向上を図る

事業成長性

EBITDA

2桁成長*

（2016年3月期実績：1,416億円）
（2021年3月期目標水準：2,400億円）

- 医療事業において市場成長率を上回る売上拡大を実現するとともに無駄の無い事業運営に努め、質を伴った成長を実現する
- 会計的要素（減価・のれん償却等）を除いた「儲ける力」の強化を図る

健全性

自己資本比率

50%

（2016年3月期実績：38%）

- リスクに見合った適切な健全性の確保と適正な財務レバレッジコントロールの観点から、自己資本の充実を図る

経営指標

■ 経営目標の達成により、2021年3月期には売上高は11,000億円、営業利益は1,800億円となる見通し

	2021年3月期（イメージ）		2016年3月期（実績）
売上高	11,000億円	CAGR 6%	8,046億円
営業利益*	1,800億円	CAGR 11%	1,045億円
フリーキャッシュフロー	2,500億円以上	5年間累計	△43億円
EPS* (一株当たり当期純利益)	350円	—	183円

* 国際会計基準（IFRS）適用後の数値
※CAGR：期間平均成長率

医療事業

- 医療事業全体で8%の成長を持続
- 消化器内視鏡分野は市場成長率を上回る安定成長
- 外科分野は市場成長率を大きく上回る成長
- 営業利益率は3pt上昇の26%レベルを目標

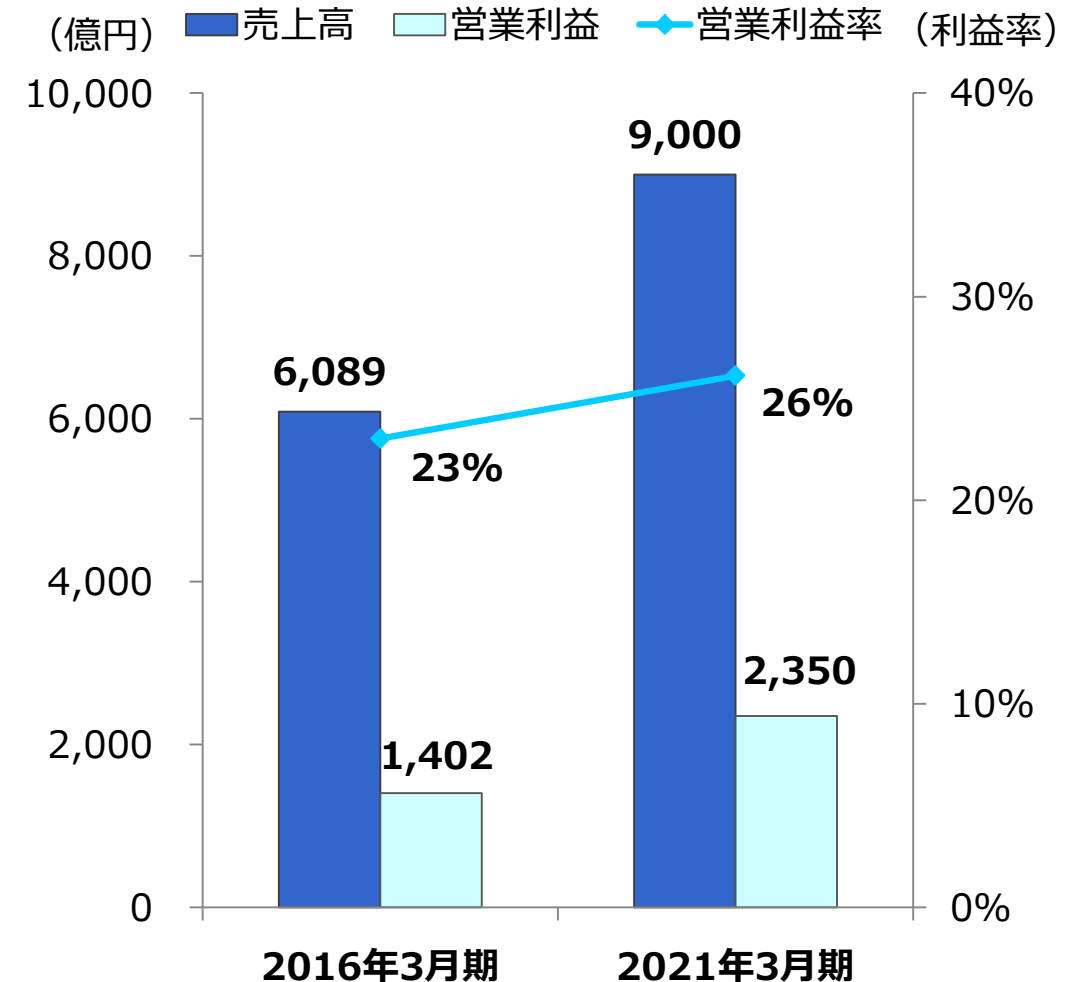
2021年3月期 目標水準

1 売上高 9,000億

2 営業利益 2,350億円
(営業利益率 26%)

* 国際会計基準（IFRS）適用後の数値
※CAGR：期間平均成長率

【売上高CAGR:8% / 営業利益CAGR:11%】



- 収益性改善の構造改革は実施済み
- 既存事業の選択的強化でオーガニック成長
(右グラフ緑の部分)
- 商品・技術ポートフォリオの拡大で、
上乗せを狙う

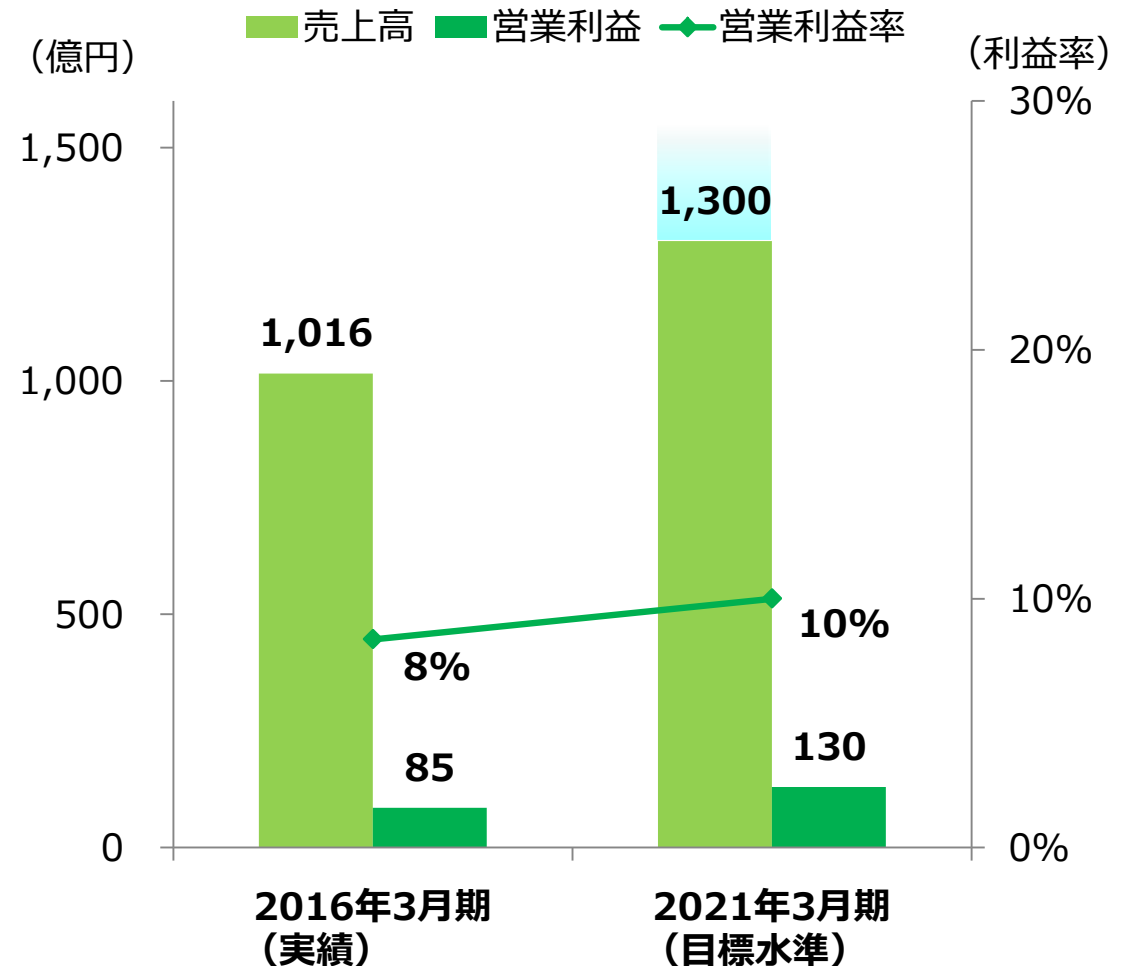
2021年3月期 目標水準

1 売上高 1,300億

2 営業利益 130億円
(営業利益率 10%)

* 国際会計基準（IFRS）適用後の数値
※CAGR：期間平均成長率

【売上高CAGR:5% / 営業利益CAGR:9%】



- 市場規模に合わせてコンパクトカメラの売上規模を縮小
- 2016年3月期比で売上高CAGRが最大7%減少した場合でも営業利益率4%を確保できる事業構造を構築

2021年3月期 目標水準

1

売上高 550億円

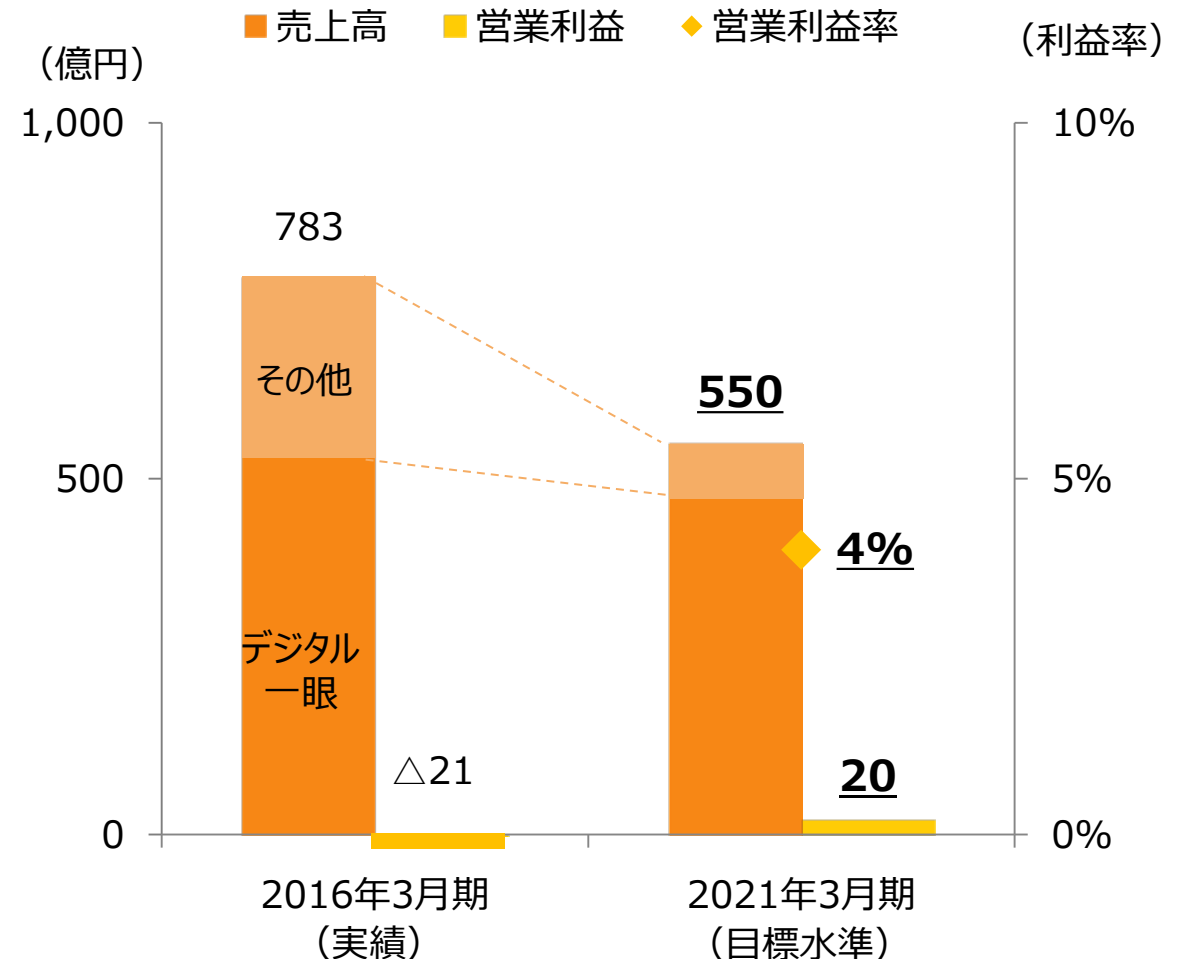
2

営業利益 20億円

(営業利益率 4%)

* 国際会計基準（IFRS）適用後の数値
※CAGR：期間平均成長率

【売上高CAGR:△7%】



4. 最後に

株価推移（2011年10月～2017年1月）

問題発覚以前の株価を大きく上回る水準まで回復



2期前に復配し、今期も増配予定

配当案	年間
2016年3月期	17円
2017年3月期(予定)	28円

< 資本配分の基本方針 >

1. 安定した財務基盤確保のため、資本を増強
2. 医療事業を中心とした成長領域へ積極投資
3. 将来的に総還元性向30%を目安とし、段階的に増配



- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【参考資料】ホームページお役立ち情報

▶ オリンパス株式会社トップページ http://www.olympus.co.jp/jp/	オリンパス全体についてご理解いただくための最初のページです
▶ 投資家情報ページ http://www.olympus.co.jp/jp/ir/	直近の財務情報、アニュアルレポートなど、投資家の皆様向けの情報をご紹介します
▶ 中期経営計画 http://www.olympus.co.jp/jp/ir/data/plan/	2016年3月30日開催の「OLYMPUS IR DAY2016」で発表した新中期経営計画「16CSP」を詳しく説明しています
▶ 個人投資家の皆さまへ http://www.olympus.co.jp/jp/ir/individual/	個人投資家向けに当社の事業内容や強み、創業から現在に至るまでの歩み等について分かりやすくご紹介しています
▶ C S R・環境活動ページ http://www.olympus.co.jp/jp/csr/	オリンパスのC S R・環境に関する活動をご紹介します
▶ BRAVE CIRCLE 大腸がん撲滅キャンペーン http://www.bravecircle.net/	大腸がん撲滅キャンペーンに関する情報をご紹介します
▶ おなかの健康ドットコム http://www.onaka-kenko.com/	おなかの健康チェック、内視鏡検査の受け方などをご紹介します 健康応援サイトです